

G I G Aスクール環境下における体育授業の充実 実践研究校 研究報告

体づくり運動

山口市立大歳小学校（山口県）
電話番号 083-922-2466
メールアドレス ootoshi-e@yamaguchi-tgc.ed.jp

●実践研究のねらい

- グループ活動の取組を学級全体で共有し、学習の見通しを持たせ、意欲的に活動に取り組むことができるようにする。
- 運動に対する実感を可視化し、仲間と活発に交流することができるようにする。

●具体的な活用方法

- ≪協働的な学び≫意見・回答の即時共有を通じた効果的なグループ別学習

●指導の工夫

1 デジタル掲示板を活用したグループ活動内容の共有

毎時間の振り返り、活動の様子、グループでの話し合いの音声などの資料を学級全体で共有し、互いの良い取組を見つけたり、課題を明確にしたりできるようにした。

2 タブレット端末を活用した取組の実感の可視化

「楽しさ」や「動きの高まり」について、タブレット端末に表示された座標軸に自分の実感を入力し、可視化された個人の実感をグループで確認することで、互いの課題を知り、より活発な活動につなげることができるようにした。

●授業の様子



【グループ活動内容の共有】
デジタル掲示板を活用した
グループ活動内容の共有場面

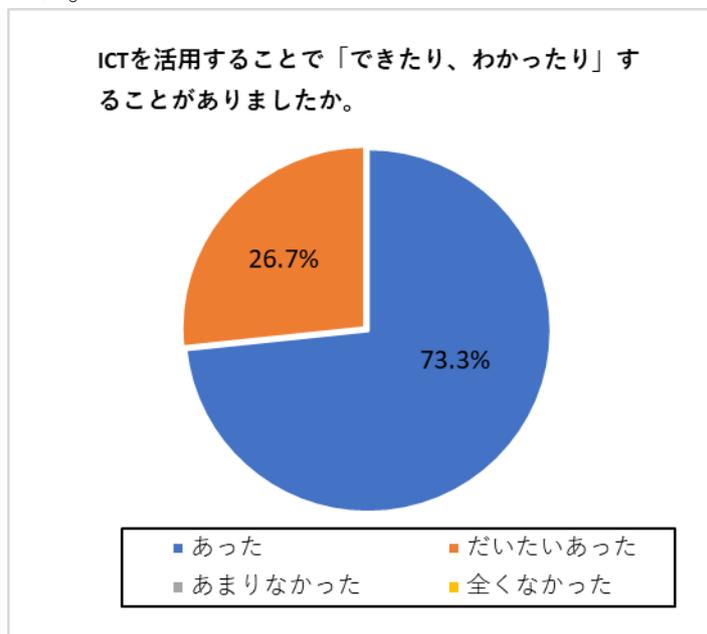


【運動に対する実感を座標軸で可視化】
タブレット端末を活用し、可視化された
個人の実感のグループでの確認場面

●児童生徒の資質・能力の育成状況、取組み方や意識の変容など

【児童生徒の資質・能力の育成状況】

- ICT機器を活用することで、「できたりわかったりすることがあった」「できたりわかったりすることがだいたいあった」と回答した生徒が100%であり、知識及び技能の習得に効果的だった。



【取組み方や意識の変容】

- 他のグループの活動の様子や工夫した点を共有することで、学習課題や見通しの明確化が図られ、意欲的に活動に取り組む姿が見られた。
- グループ活動では、気付きを分かりやすく伝えたり、動きや楽しさを高めるために進んで話し合ったりする様子が見られた。

●成果

- 運動に対する自分の考えを表現する場を保障することができ、互いに認め合うことができたことで、意欲的に単元に取り組めた。

●課題

- 運動量と思考のバランスを考慮し、ICT機器の良さを生かしながら、45分の授業をどのようにマネジメントしていくかが課題である。